

【小川自治会自主防災隊】

下小川支隊通信

平成30年度第1号（通算第9号）

発行・平成30年6月15日

制作・下小川支隊 支隊長会

小川自治会自主防災隊は、小川地区内の5カ所の公園を避難場所と想定して、本部のもとに下小川支隊、せんげん支隊、かえで支隊、蜂谷戸支隊、柳谷戸支隊の5支隊で構成されます。下小川支隊では、平成30年度のスタ

●下小川支隊の構成

支隊長会	(全員留任)
支隊長(代表)	荻原紹夫 (1支部4班)
支隊長(副代表)	池田正明 (1支部2班)
支隊長(トランシーバー担当)	平田 平
	田一郎 (1支部3班)
支隊長(スタンドパイプ訓練申請担当)	
	大高 晃 (11支部4班)
支隊長(通信制作担当)	
	鮫島 穰 (1支部3班)

防災責任者構成

昨年度までの4専門分野を自治会の支部ごとのブロック構成に変更しました。連絡の利便性と近隣の親交の密度を高めるためです。

Aブロック	加藤由紀 (1支部1班)
(平田支隊長)	並木正治 (1支部2班)
	山下広信 (1支部3班)
	平井葉子 (1支部4班)
	丸田 禅 (1支部7班) ↗

●地域の“絆”を育む防災訓練

限りある紙面ですので、先の支隊長・防災責任者会議において決定された3件の防災訓練の概要を記してご挨拶に代えさせていただきます。確かに防災訓練としての効果はごく限定的ではありますが、“防災”の一つの基本が近所との緊密な連携、つまり“絆”であることには間違いありません。近隣の大勢の方々が一ヶ所に集まって力を合わせて同じ訓練をする、こう思えばささやかな訓練でもそれなりの効果はあるものと信じます。

1. SP訓練 (雨天中止)

すでに連絡の通り**6月23日(土)**下小川公園で消防署指導の下で行われる本年度最初の訓練です。SP(スタンドパイプ)とは、水道管の取水栓(特定のマンホール内にある)に接続して放水する簡易消火器です。慣れれば操作は簡単ですので多数の方に覚えていただきたいと思います。参加可能な方は班長さんまでご連絡ください。昨年参加された方はぜひともお願いします。お子様方の参加も大歓迎です。

2. 総合訓練

小川自治会防災隊が主宰する毎年恒例の防災訓練

ートにあたり去る5月20日(日)と6月10日(日)の両日をかけて「**支隊長・防災責任者(自治会班長の兼務)会議**」を開催し本年度の支隊構成や活動内容等の討議をいたしました。

Bブロック	小林浩美 (3支部1班)
(池田支隊長)	秋元友紀 (3支部3班)
	西谷真智子 (3支部4班)

Cブロック	山本俊夫 (8支部1A班)
(荻原支隊長)	渋谷和子 (8支部1B班)
	栗原文男 (8支部2班)
	小林裕子 (8支部5班)
	笹田恵美子 (8支部6班)

Dブロック	藤井良清 (11支部1班)
(大高支隊長)	高橋啓吉 (11支部3班)
	武田千里 (11支部4班)
	田村洋子 (11支部5班)
	柘植美加子 (11支部6班)

ブロック下の()内は連絡責任者(支隊長兼務)です。本部・支隊等からの連絡の流れは、支隊長会→各ブロック連絡責任者→防災責任者(班長)→自治会員 となります。

です。本年度の予定は**10月21日(日)**、雨天の場合は10月28日(日)、午前の旗出し、午後の総合訓練(於蜂谷戸公園)は例年通りです。下小川支隊の「旗出し」の実績は毎年良好ですが、午後の総合訓練へのご参加もお願いいたします。

3. AED・応急手当訓練

AEDは最近各所に設置されている一種の心肺蘇生器です。日時は未定ですが、本年度後半に実施したいと思っています。

小川地区は地理的に比較的安全な場所と考えられてはおりますが、着実に進む高齢化社会に向けての新たな“絆”も必須となってきました。自治会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

なお、地域防災の重要性・ノウハウなどは全家庭に配布された東京都発行のオリジナルブック「**東京防災**」にくわしく記されていますので、日頃から身近に置きご活用いただきたいと思います。

代表支隊長 荻原紹夫